



グリベル SINCE 1818

GRIVEL・MONT BLANC

農耕器具の改造がピッケルの始まり

1818年、モンブラン南麓クールマイユール村の鍛冶屋「グリベル」一家は山へ登りたいという裕福な人々の要求に応じて農耕器具の改造を引き受けました。これが登山用ピッケルの始まりといわれています。

1909年、英国からやってきたオスカー・エッケンシュタインがヘンリー・グリベルにクランボンの注文をしました。これが登山用モダンクランボンの始まりです。

1929年に、ヘンリーの息子ロホン・グリベルが2本前歯を前方に曲げて、これによってアルピニストは急斜面の雪氷を登れるようになりました。

この画期的な開発によって、1938年7月に未登だったアイガー北壁が登られました。その頃には、初めてクローム合金を使用して軽量クランボンの製造も始めました。1組で360グラムになるように、鋼鉄を手打ち鍛造しました。このクランボンは「スーパーリジェット・グリベル」と呼ばれて1950年代に相次いで成された世界の3高峰である、エベレスト、K2、カンチェンジュンガの初登頂に使われたのです。

ニッケルクロームモリブデン特殊鋼

デザインと製造を注意深く行っても、高品質の鋼材が無ければ良い熱鍛造は出来ません。グリベルの特殊鋼材は、ニッケルクロームモリブデン鋼。登山用アックスやクランボンには最も適した素材です。

ニッケルは、鋼の弾力性を良くします。クロームの含有は重要で、耐久性とさび止め効果があります。そしてモリブデンの利点は高温に対する抵抗性があり製造工程で鋼を破壊することなく、さらに高い加工温度へ加熱できるようになります。またモリブデンは低温下での対疲労性を大幅に向上させる素材でもあるのです。



K2初登頂とグリベル (1954.7.31 イタリア隊)



エアータック

570g

E.V. シャフト

エアータック
エヴォリューション

535g

エアータック.....¥21,000

標準的仕様なので多くの冬山登山者に使われています。熱鍛造一体成型ヘッド。

●サイズ/シャフト長58, 66, 74 (cm) ●重量/570g (58cmリーシュ付き)

エアータックエヴォリューション.....¥21,000

先進的デザインのアルパインアックス。シャフトにエヴォリューションカーブが付けられて岩と雪のミックスルートへ対応する。熱鍛造一体成型ヘッド。ロングリーシュ付き。

●サイズ/シャフト長48, 53, 58, 66 (cm) ●重量/535g (53cmリーシュ付き)

エアータック・オーマチック.....¥16,800

前歯のブーツからの出具合を調節するためにフロントペイルバックルの取付位置を前後に変えることが出来る。 ●重量/480g (片方)

エアータックオーマチック

480g 片方



雪だんご防止、アコースティック付き

